

[参考事項]

新技術名：県南地域におけるリンゴ早生導入品種の特性（平成18～27年）

研究機関名 果樹試験場 品種開発部

担 当 者 松田あさみ・鈴木さゆり 他3名

[要約]

国内外で育成された早生のリンゴ5品種について、本県（県南部）における栽培特性を明らかにした。その結果、「あおり16」を有望な品種、その他4品種を適応性および普及性が低い品種と評価した。

[普及対象範囲]

県南地域のリンゴ生産者

[ねらい]

平成8年以降発表された早生のリンゴ新品種の中から、有望と思われる品種を導入し、県南地域における適応性と普及性の有無を検討する。

[技術の内容・特徴]

1. 有望な品種

「あおり16」（商標名：恋空）は、収穫期が8月上旬～中旬の赤色品種。着色能力に優れ、夏場の高温でも安定して着色する。果実重は250～300gで食味は甘系である。果肉は粉質化しにくく日持ち性は常温（25℃）で5日、冷蔵（2℃）で14日である。

2. 適応性および普及性が低い品種

- 1）「あおり11」は収穫期が8月中旬の赤色品種。食味は淡泊で収穫適期を過ぎると果肉が粉質化しやすい。
- 2）「ファーストレディ」は収穫期が8月下旬の赤色品種。食味は甘酸適和であるが、成熟期の気温が高いと高温障害によるみつ症や内部褐変がみられる。
- 3）「キュート」は収穫期が9月上旬の黄色品種。食味は甘酸適和である。玉揃いが悪く、外観は果面全体にサビが発生する。
- 4）「黄香」は収穫期が9月中～下旬の黄色品種。多汁で食味は良好であるが、収穫前落果があり、400g以上の大果では裂果（縦割れ）が多く発生する。また、成熟期の気温が高いと、がくあ部にみつ症がみられる。

[成果の活用上の留意点]

なし

[具体的なデータ等]

表1 リンゴ早生導入品種の果実品質

品種名	調査年度	収穫日	果重 (g)	地色	硬度 (lbs)	糖度 (Brix%)	酸度 (g/100ml)	着色	みつ入り	心かび
あおり11	H23	8月17日	214	1.5	11.6	12.7	0.51	多	無	無
	H24	8月20日	207	4.6	12.3	13.9	0.35	多	無	無
	H25	8月26日	227	2.5	17.2	11.8	0.30	多	無	無
あおり16	H25	8月23日	260	－	15.6	13.1	0.31	多	無	無
	H26	8月15日	291	－	10.7	14.6	0.28	多	多	多
	H27	8月10日	279	2.0	13.8	15.2	0.24	多	無	無
ファーストレディ	H25	8月27日	251	5.9	15.3	13.2	0.31	中	無	無
	H26	8月27日	293	4.4	15.0	14.5	0.32	少	少	無
	H27	8月24日	407	4.4	14.4	15.1	0.34	中	少	少
キュート	H16	9月8日	204	2.8	14.5	11.4	0.32	－	無	無
	H17	9月7日	226	2.0	15.9	12.7	0.37	－	無	無
	H18	9月12日	242	2.5	15.6	13.3	0.34	－	無	微
黄香	H22	9月17日	365	4.2	19.9	14.7	0.49	－	少	無
	H23	9月26日	446	3.5	16.3	12.9	0.41	－	少	無
	H24	9月25日	534	5.8	13.0	13.5	0.36	－	中	無
(参考)つがる	H17～H26	9月10日	312	－	13.6	12.5	0.31	中	無	微

注) 地色: 赤色品種は「ふじ」用、黄色品種は「王林」用カラーチャートを使用

みつ入り: みつ入りの程度で5段階(無～多)

心かび: 発生程度で5段階(無～多)

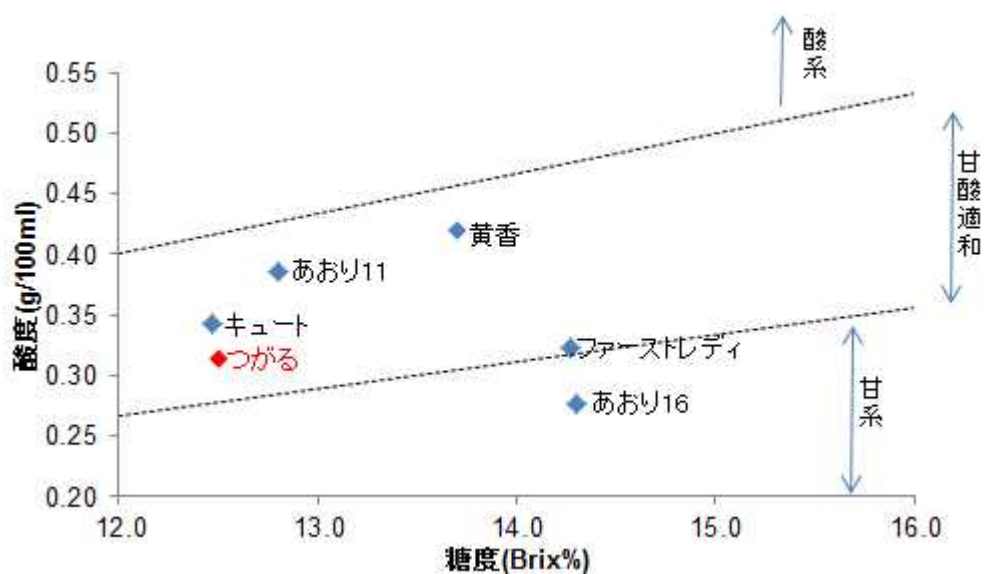


図1 本県におけるリンゴ早生導入品種の糖度と酸度の分布

注) 各品種の酸度と糖度は表1の平均値。

[発表論文等]

なし